

教育委員会だより

教育委員会では、子どもたちの生きる力を育み、一人一人の状況に応じた支援を行っています。また、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育てる体制を目指し、さまざまな事業に取り組みんでいます。

今月は、発達支援課の主な取り組みを紹介します。

発達支援課

家庭や園、学校、関係機関と連携し、日常生活などで困っている子どもたちを支援しています。



「読み書き障がい(ディスレクシア)」って？

「読み書き障がい」とは、文字の読み書きに限定した困難さを持つ状態です。知的な遅れや勉強不足が原因ではなく、脳機能の発達に問題があるとされています。字を読むことに困難があると、当然ながら字を書くことにも困難が出てきます。

◆読字(読み)障がい

- ・文字を一つ一つ拾ってたどたどしく読む
- ・語あるいは文節の途中など意味のないところで区切ってしまう
- ・文字間や行間が狭くなるとさらに読みにくくなる
- ・音読よりも黙読が苦手
- ・文を読んでいるとすぐ疲れる
- ・文末などを適当に自分で変えて読んでしまう

◆書字(書き)障がい

- ・特殊音節(小さい「っ」や伸ばす音を誤って書く
- ・「わ」と「は」、「お」と「を」などの表記を誤る
- ・似ている文字の誤りが多い
- ・画数の多い漢字に誤りが多い
- ・文字が枠の中に入らない

文字が読めないのではなく、読むのが極端に遅く、よく間違えるので、学力定着にも時間がかかることがあります。周りの人から「怠けている」と思われたり、「叱られる」ことがたくさんあったりすると、自尊心がややる気の低下といった二次的障がいを引き起こすこともあります。まずはお子さんの困っていることに気づき、ご相談ください。



スクールソーシャルワーカー(SSW)を知っていますか

SSWとは「学校」と「家庭」で起こるさまざまな問題に対し、学校や関係機関と連携して状況を改善するための支援を行う専門職です。教育委員会では、現在3人のSSWを配置しています。

SSWの職務内容

- ①問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけを行います
- ②学校と関係機関などとのネットワークの構築、連携・調整を行います
- ③学校内におけるチーム体制の構築、支援を行います
- ④保護者、教職員などに対する支援・相談・情報提供を行います
- ⑤教職員などへの研修活動を行います

例えば、長期欠席および不登校児童・生徒の例で考えてみると、その

問題の背景には友人関係、学力、部活動、発達障がい、家庭環境、虐待、



いじめ、非行、さらには家族一人一人が抱える個別の課題などが複雑に絡み合っている場合が見られます。このような課題の解決に向けて、学校が積極的に学校外の機関とも連携し、環境を改善するための取り組みをしていくことが必要となります。そこでさまざまなケースにSSWが、教職員や関係機関の情報を中心に保護者と一緒になって、解決の糸口を探る援助を行います。このコーディネーターやアドバイザーのような役目を担うのがSSWです。